申請書（Excel ファイル）の作成・提出

次ページからの記入要領を参考に，共通機器利用申請書を作成して下さい．

共通機器利用申請書の提出前に，書類に不備がないかご確認ください．

◆ 主なチェックポイント（書類不備が発生しやすい箇所）

- ☑ 申請者名
  - ☑ 来所者（測定最終日に確認書に署名する方）の名前になっていますか？
- ☑ 使用希望日程
  - ☑ ホームページ（予約状況カレンダー）で，希望日程の装置の予約状況は「予約済み」になっていませんでしたか？
    - ☞ CN･CN 微量･炭酸塩･S-IRMS は，予約済みになっている日程でも調整出来る可能性があります．この場合は，希望日程・サンプルの種類・数等の情報を付して，計測・分析室担当者までメールにてお問い合わせください（この時点では，申請書は提出しないでください）．
- ☑ 使用制限日の利用希望
  - ☑ ホームページ（予約状況カレンダー）で，希望日程に使用制限日が含まれていませんでしたか？
    - ☞ 含まれている場合の取り扱いは，実験施設利用の手引きを参照してください．
  - ☑ 【使用制限日が含まれている場合】認定利用者欄に，それ以外の人の名前を記入していませんか？
    - ☞ 認定利用者は 2019 年度以降の制度です．従来の上級利用者からの資格移行はありませんので，以前上級利用者等であった方も，改めて認定を受けていただく必要があります．
- ☑ 時間・測定・サイクル数（見込み）
  - ☑ 標準試料込みの時間・測定数（見込み）となっていますか？
    - ☞ 未知試料内訳は，「試料の種類と数」欄に，装置毎にご記入ください．
- ☑ 作業開始予定日時
  - ☑ 所外の方の場合，実験施設利用受付カウンターに来所手続きに来られる日時（原則平日 9 ～ 15 時）となっていますか？
    - ☞ 地球研ハウスに前泊される場合の地球研到着予定時間ではありません．
    - ☞ 認定利用者等で，カウンター受付時間外に来所し作業を開始される場合は，実験室カードの受け取り希望日時をご記入ください．ただし，当該年度初回のご利用時に暗証番号の必要な部屋を利用される場合は，暗証番号に関わる手続きが必要ですので，原則，受付時間内にお越しください．
- ☑ 希望日程備考
  - ☑ 第 2 希望・第 3 希望等の予備日程に申請期間外の日程が含まれていませんか？
- ☑ 利用負担金支払者
  - ☑ 同位体環境学共同研究事業の計測・分析室共同研究，あるいは人・モノ・自然プロジェクト連携公募共同研究で申請される場合，支払者は採択者（研究代表者）となっていますか（ただし超過の場合を除く）？
- ☑ 全体
  - ☑ 赤ハイライトが残っている箇所はありませんか？赤ハイライト部は入力必須項目です．

申請書（Excel ファイル）提出先；メール添付にて kiki_yoyaku@chikyu.ac.jp までお送りください

- ▶ 申請書は，必ず Excel ファイルにて提出ください（仮承認後に承認番号を付して差し戻すため）．
- ▶ 申請メールを受領後，原則 3 営業日以内に kiki_yoyaku@chikyu.ac.jp より受領確認メールをお送りします．受領確認メールが届かない場合は，お手数ですが，計測・分析室までお問い合わせください．

申請書（Excel ファイル）の記入要領

共通機器の利用申請に当たっては，事前に利用希望装置の利用条件（2023 年度版実験施設利用の手引き p.23 ～）をご確認ください．
利用条件に関して不明な点は計測･分析室担当者（kiki_yoyaku@chikyu.ac.jp）までお問い合わせください．

共通機器利用申請書の，赤くハイライトされている項目は入力必須項目です（選択内容によりハイライト箇所は変わります）．もれなくご記入ください．

- 共通機器の利用申請をするためには，当該年度の実験施設利用許可を得ている必要があります．
- 利用希望期間の当該装置の予約状況を，あらかじめホームページ（予約状況ページ）にてご確認ください（ただし，リアルタイム更新ではありませんので，空欄であったとしても空いているとは限りません）．なお，CN-IRMS・CN 微量 -IRMS・炭酸塩 -IRMS・S-IRMS に関しては，すでに予約が入っていたとしても調整可能な場合があります（シェア利用）．
- 一度に申請できる共通機器の利用期間は 14 日以内です．ただし，地球研休業日及び別途計測・分析室が定める使用制限日に装置を使用できるのは認定利用者のみです．
- 利用申請書は予算単位で作成してください．１枚の申請書で６つの機器まで申請できます．

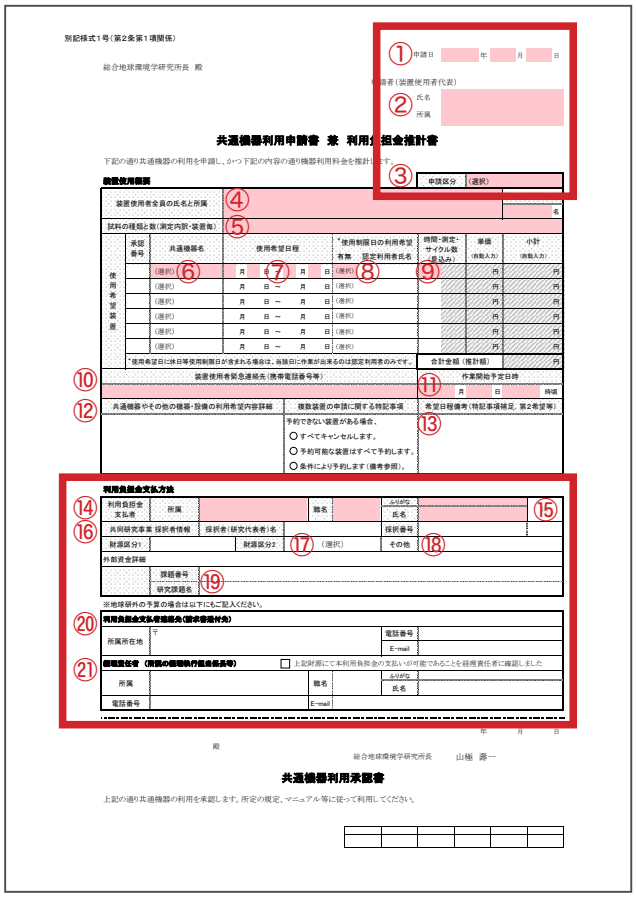
書式ダウンロードページは https://www.chikyu.ac.jp/laboratories/labo_download/ です．

装置の申請者・申請区分情報

① 西暦でご記入ください．

② 申請者は，来所して装置を使用する方（代表者）としてください．申請者と測定終了時に作成いただく確認書にサインを行う人が一致している必要があります．

③ 申請区分を選択してください．



地球研所員・プロジェクト等の共同研究者：

使用経費により選択してください．

◆ 地球研運営費（プロジェクト経費）
　➡ 1. 地球研プロジェクト

◆ 地球研運営費（プロジェクト経費以外）
　➡ 3. 地球研（所内：運営）

◆ 地球研受入外部資金
　・広領域　➡ 4. 機構広領域（基幹）
　・広領域一般 ➡ 4. 機構広領域（一般）
　・科研費等　➡ 4. 地球研（所内：外部）

◆ 地球研外の資金 ➡ 5. 地球研（所外）

同位体環境学共同研究事業参画者：

事業への採択区分により選択してください．

(A) 一般共同研究 ➡ 5. 同位体環境学（一般）

(B) 計測・分析室共同研究
　➡ 2. 同位体環境学（計測）

(S)「人・モノ・自然プロジェクト」連携公募共同研究
　➡ 4. 同位体環境学（S 連携）

(B) あるいは (S) に採択された方で，配分経費を使い切った後，ご自身の資金で利用負担金を支払われる場合は，それぞれ（計測 _ 超過），(S 連携 _ 超過）を選択してください．

利用負担金の支払いに関する情報

地球研所員・プロジェクト等の共同研究者：

⑭ 利用負担金支払者の所属・職名・氏名をご記入ください．

※課金が発生しない場合は，地球研受入教員をご記入ください．

⑮ 利用負担金支払者の印鑑は，最初の Excel ファイルでの申請時には不要です．

⑰ 課金が発生する（赤ハイライトになっている）場合は経費の種類を選択してください．

⑱ 地球研外の資金の場合を除き，財源コード（所管コード，および目的コードあるいはプロジェクトコード）をご記入下さい（基幹研究（人新世）経費の場合は自動入力されます）．

※共同研究者資格で利用される所外の方は，原則として，地球研外の資金では支払えません．

⑲ 受託研究費・科学研究費・寄付金の場合は，その研究課題名等をご記入ください．

⑳ 地球研外の資金で支払う場合は，支払者（⑭欄に記載の方）の連絡先をご記入下さい．

㉑ 地球研外の資金で支払う場合は，経費執行機関の事務組織の経理係（相当）の担当者をご記入下さい．支払者本人や研究室内の事務の方ではありません．

同位体環境学共同研究事業参画者：

⑭ 利用負担金支払者の所属・職名・氏名をご記入ください．

※計測・分析室ならびに人・モノ・自然プロジェクト連携公募共同研究の方は，研究代表者名をご記入ください（超過の場合を除く）．

※課金が発生しない場合は，研究代表者をご記入ください．

⑮ 利用負担金支払者の印鑑は，最初の Excel ファイルでの申請時には不要です．

⑯ 採択者（研究代表者）の氏名と採択番号をご記入下さい．

⑰ 課金が発生する（赤ハイライトになっている）場合は経費の種類を選択してください．

⑱ 財源区分２で「その他」を選択した場合は，資金情報の詳細をご記入下さい．

※計測・分析室ならびに人・モノ・自然プロジェクト連携公募共同研究の方は，財源コードが自動入力されますので，変更しないで下さい（関数を消去しないで下さい）．

⑲ 受託研究費・科学研究費・寄付金の場合は，その研究課題名等をご記入ください．

⑳ 地球研外の資金で支払う場合は，支払者（⑭欄に記載の方）の連絡先をご記入下さい．

㉑ 地球研外の資金で支払う場合は，経費執行機関の事務組織の経理係（相当）の担当者をご記入下さい．支払者本人や研究室内の事務の方ではありません．

利用負担金支払方法

利用負担金支払者	所属		職名		ふりがな 氏名		印
共同研究事業 採択者情報	採択者(研究代表者)名				採択番号	2023連携	
財源区分1	地球研内_運営費	財源区分2			その他		
外部資金詳細							
	課題番号						
	研究課題名						

☜財源区分２で資金を選択するとコードが自動入力されます

※地球研外の予算の場合は以下にもご記入ください。

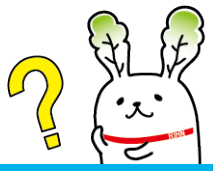
利用負担金支払者連絡先(請求書送付先) 地球研内の資金で支払う場合，この欄は記入しません

所属所在地	〒	電話番号	
		E-mail	

経理責任者（所属の経理執行担当係長等） ☐ 上記財源にて本利用負担金の支払いが可能であることを経理責任者に確認しました

所属		職名		ふりがな 氏名	
電話番号		E-mail			

※ 申請区分が計測・分析室ならびに人・モノ・自然プロジェクト連携公募共同研究の場合



装置使用概要の記入要領は次ページにあります．

不明な点は，kiki_yoyaku@chikyu.ac.jp までお気軽にお問い合わせください．

共通機器・前処理設備の利用希望に関する情報

④ 実際に来所される方のお名前と所属をご記入下さい．また，合計人数をご記入下さい．複数装置の申請に際し，装置によって使用者が変わる場合は，そのことがわかるようにご記入下さい．

⑤ 複数種類のサンプルがあるときは，それぞれのおよその未知試料数をご記入ください．

※複数の装置を申請される場合は，どの機器でどのサンプルを測定するのかがわかるようにご記入ください．

⑥ 使用を希望する共通機器および前処理設備を選択してください．

課金の発生しない共通機器および前処理設備の使用を希望する場合：

試料の状態・数など，具体的な情報を⑫欄にご記入ください．

※クリーンルーム，精密天秤，乾燥器の利用申請必須化について（2023 年度より）

- 測定の前処理に関する設備（クリーンルーム，ウルトラミクロ天秤，有機物 OH 測定用定温乾燥器ならびに凍結乾燥機）は，利用申請が必須となりました．予約のない方は，利用できない可能性がありますのでご注意ください（当日空いている場合のみ利用可）．
- ウルトラミクロ天秤は，利用申請できるのは 1 台までです．ただし，利用当日に空きがある場合は，複数台の利用も可能です．
  利用の優先順位は，「予約分＞予約者の追加利用＞予約無し利用者」です．

※ TIMS，MC-ICP-MS 申請時の注意点について（2023 年度より）

- 微量試料の測定（10^{13} Ωアンプを使用する測定）を希望する場合は,「微量 TIMS...」「微量 MC-ICPMS...」を選択して下さい．
- MC-ICPMS は，装置を指定した申請はできません．装置の稼働状況に応じて，装置担当者が適切な装置を割り当てを行い，利用者には分析当日にご利用いただく装置をお知らせいたします．

※ヘリウム供給難への対応について（2023 年度）

- ヘリウムの供給状況は世界的に非常に不安定となっています．保有しているヘリウムが尽きれば，CN，S，有機物 OH，炭酸塩，GC/C-IRMS は利用停止となりますことご承知おきください．
- ヘリウムの供給難の現状を鑑み，CN-IRMS，CN 微量 -IRMS および S-IRMS については，当面 1 サイクルでの測定数におおよその下限を設けることとします（生物試料の場合，標準試料込みの測定数が，CN-IRMS：約 250 以上，CN 微量 -IRMS：約 170 以上，S-IRMS：約 100 以上）．測定数がこれを下回る場合は，シェア利用希望と備考欄に明記して申請してください（他の利用者とのシェア利用が成立すれば測定が可能となります）．詳細は，毎回の装置利用申請後，計測・分析室と相談の上決定することとします

※ Picarro 申請時の注意点について

- 装置を指定した申請はできません．試料の性質や装置の稼働状況に応じて，装置担当者が適切な装置を割り当てを行い，利用者には分析当日にご利用いただく装置をお知らせいたします．
- 海水試料, 電気伝導率の高い試料, 有機物含有試料（植物抽出水など）を測定する場合は,「試料の種類と数」欄（⑤）にその旨必ずご記入下さい．これらの試料を測定できる装置は限られているため，来所時に判明した場合は利用をお断りする可能性があります．
- 人工的に同位体比が高い重水などを添加した試料の測定を希望する場合は，事前に装置担当者にご相談下さい（原則として，δ^2H で 400‰を越える試料は測定をお断りしております）．

⑦ 使用希望日程をご記入ください．希望日程が 1 日のみの場合も，開始日・終了日の両方をご記入ください．

⑧ 使用制限日（地球研休業日及び部門が機器ごとに定める使用不可日）は，ホームページ（予約状況ページ）にてご確認ください．

使用希望日程に使用制限日が含まれない場合：

- ▶ 利用希望の有無は「なし」を選択してください．認定利用者名欄は記入不要です．

使用希望日程に使用制限日が含まれている場合：

- ▶ 当該日に使用を希望する場合は，利用希望の有無は「あり」を選択し，その機器について認定を受けている認定利用者名をご記入ください．なお，当該日に作業が出来るのは認定利用者のみです．
- ▶ 当該日に使用しない場合は，利用希望の有無は「なし」を選択し，認定利用者名欄には，認定利用者がいる場合はその名前を，いない場合は「なし」とご記入ください．認定利用者がいない場合は，使用制限日に使用しないという条件でのみ，この日を含む日程を申請をすることができます．

認定利用者制度（2019 年度より）

計測・分析室長が共通機器の通常操作ならびに故障対応について一定の能力を有すると認めた利用者を「認定利用者」として認定し，装置の使用日程条件を緩和します．認定を希望される方は，計測・分析室担当者まであらかじめお申し出ください．

この制度は従来の「上級利用者」に相当するものですが，認定基準の見直しを行ったため，上級利用者等から認定利用者への資格移行はありませんのでご注意ください．

⑨ 時間・測定・サイクル数は，実験施設利用の手引き p. 5 ～ 6 の表や p. 16 の表，p. 23 からの利用条件を参考にご記入ください．

⑩ 測定期間中に連絡の取れる電話番号とお名前をご記入ください（1 名以上）．

⑪ **所外の方：**

実験施設利用受付カウンターに来所手続きに来られる日時をご記入ください（原則平日 9 ～ 15 時）．

※当該年度初回のご利用時には，カウンターで暗証番号（年度更新）に関わる手続きが必要です．

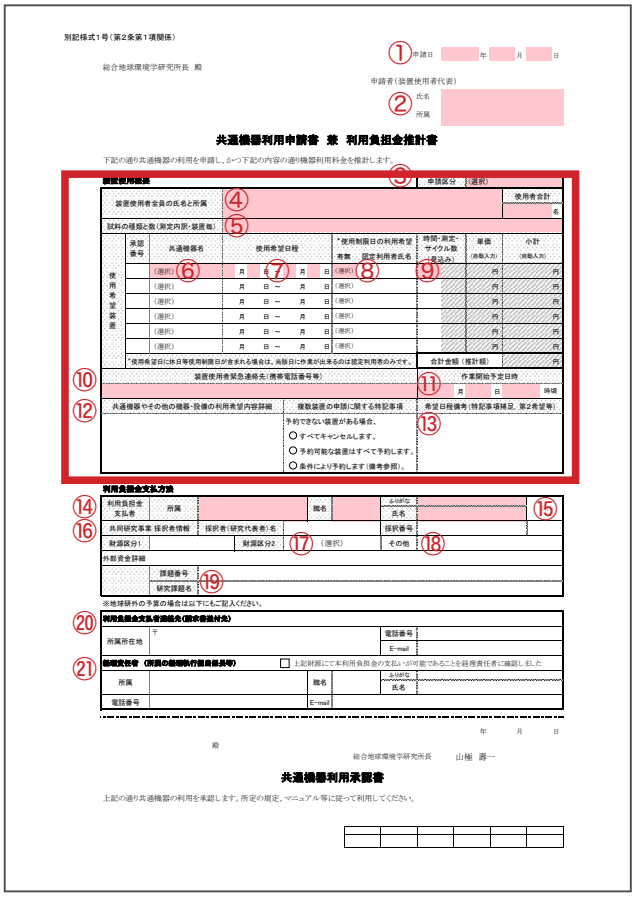
※認定利用者等の方で地球研休業日に作業開始を予定されている場合は，実験室カード受取希望日時をご記入ください．

所内の方：

作業開始予定日時をご記入ください．

⑫ 課金の発生しない共通機器ならびに前処理設備の利用を希望される場合は，試料の状態・数などの具体的な情報や，利用希望日程の詳細についてご記入下さい．

⑬ 複数装置の申請に関する特記事項の条件補足や第 2 希望日程等，申請日程に関する補足情報はこちらにご記入ください．ただし，申請受付期間外の日程を記入されても無効となります．


別記様式1号（第2条第1項関係）

①申請日　年　月　日

総合地球環境学研究所長　殿

申請者（装置使用者代表）

②氏名

所属

共通機器利用申請書　兼　利用負担金推計書

下記の通り共通機器の利用を申請し、かつ下記の内容の通り機器利用料金を推計します。

装置使用機器　⑤申請区分　（選択）

装置使用者全員の氏名と所属　④　使用者合計　名

試料の種類と数（測定内訳・装置毎）　⑤

使用希望装置	承認番号	共通機器名	使用希望日程	*使用制限日の利用希望 有無	認定利用者氏名	時間・測定・サイクル数（見込み）	単価（単動入力）	小計（単動入力）
		（選択）⑥	月 日 ～ 月 日⑦	（選択）⑧		⑨	円	円
		（選択）	月 日 ～ 月 日	（選択）			円	円
		（選択）	月 日 ～ 月 日	（選択）			円	円
		（選択）	月 日 ～ 月 日	（選択）			円	円
		（選択）	月 日 ～ 月 日	（選択）			円	円
		（選択）	月 日 ～ 月 日	（選択）			円	円

*使用希望日に休日等使用制限日が含まれる場合は、当該日に作業が出来るのは認定利用者のみです。　合計金額（推計額）　円

⑩ 装置使用者緊急連絡先（携帯電話番号等）　⑪ 作業開始予定日時　月　日　時頃

⑫ 共通機器やその他の機器・設備の利用希望内容詳細　複数装置の申請に関する特記事項　希望日程備考（特記事項補足、第2希望等）⑬

予約できない装置がある場合、
○ すべてキャンセルします。
○ 予約可能な装置はすべて予約します。
○ 条件により予約します（備考参照）。

利用負担金支払方法

⑭ 利用負担金支払者　所属　職名　ふりがな　氏名　⑮

⑯ 共同研究事業 採択者情報　採択者（研究代表者）名　採択番号

財源区分1　財源区分2　⑰（選択）　その他　⑱

外部資金詳細

課題番号

研究課題名　⑲

※地球研外の予算の場合は以下にもご記入ください。

⑳ 利用負担金支払者連絡先（請求書送付先）

所属所在地　〒　電話番号　E-mail

㉑ 部局承認者（所属の部局執行責任者長等）　□上記財源にて本利用負担金の支払いが可能であることを経理責任者に確認しました

所属　職名　ふりがな　氏名

電話番号　E-mail

殿　年　月　日

総合地球環境学研究所長　山極 壽一

共通機器利用承認書

上記の通り共通機器の利用を承認します。所定の規定、マニュアル等に従って利用してください。